

●オオムラサキ観察会 22日(土) 前日の夕方から雨が降り始め。翌日の朝にはやむという予報でしたが、朝8時では降り続いていました。里山農園には5m×10mの大屋根を作っていましたので、雨天決行と決定しました。教育棟が威力を発揮してくれました。効果抜群です。名古屋から桜谷先生が9時30分に到着されるので、いつものように大村副理事長が出迎えていただきました。普賢寺小学校前の集合地には城陽の古森さんと里山の会事務所の向いの太田さんが集合されていました。開会式には14人が集合しました。朝から雨が降る悪天候で足元が悪い条件にもかかわらず集まっていたいただいたものです。播川理事長の開会挨拶に引き続き桜谷先生から昨年行った落ち葉を掻き集めてきて、屋根のある教育棟においてエノキの番号ごとにオオムラサキやゴマダラチョウの幼虫を調べました。雨天なので現地での落ち葉を裏返す作業には限界がありますが、教育棟における調査作業は気軽に誰でも落ち着いて丁寧に見落とすこともなく実行できました。この日の調査では、次から次と報告がありましたが、ゴマダラチョウの幼虫ばかりが先行します。約1時間の行動でしたが、オオムラサキは1匹しか発見できませんでした。オオムラサキにとっては大変厳しい環境になっていると思われました。昨年12月23日の調査では同様の調査方法で17匹のオオムラサキが見つかりゴマダラチョウは28匹で調査員は26人とかなり多かったのですが、今年は半分の13人で少なかったのですが、それにしてもオオムラサキは激変していました。台風による被害やナラ枯れ木による樹液木の減少などが影響しているのではないのでしょうか。こうしたことを考慮して午後からは木津川の榎も調査対象にすることになり、グランドの5本を調査しました。しかしその木には1匹のゴマダラチョウの発見にとどまりました。周辺にはヤナギの大木がかなり生育しているので、オオムラサキにとっては、いい環境にならず、いずれにしても里山農園付近は相当厳しい生育環境に激変していることは間違いのない事実のようです。

●中聖牛設置後片付け 23日 設置完成したのは12月16日だったので1週間が経過しました。その間に足場板や各種備品などの収納が進み玉石運搬のキャリーを運び出して完了となります。この1週間はハンマーモアによる木津川希少種生調査管理業務の除草を年内に終了させるということで、除草作業に時間がとられ、後始末が後回しになりました。特に玉石運搬に威力を発揮したキャリーは小型の方のエンジンが動かないので、運びだしが出来ずに、人力に頼らざるを得なかったので、手間がかかりました。23日には深田さんや大村さんの都合が付き、顔が揃ったところで、人力移動させることが出来て、無事に返納が進み、これでやっと気分的な圧力から解放されました。蛇籠を製作したトンネルの清掃も行い、一応、後始末に決着が付き、一段落となりました。こうしたところも参加した人数に計算すると約300人を超える皆様のご協力が集まったすごい取り組みでありました。それぞれには、長期にわたる作業時間の確保を随分と無理を承知でご依頼申し上げました、皆様の気持ちのいい返答が続き見事にやりあげることに成功しました。かかわっていただきました皆様に心よりお礼申し上げます。次は増水による影響と効果が予想通り発揮されるかどうかということです。竹門先生と田住君の研究調査結果が待ち遠しいものです。

●カスミサンショウウオ生育池の巨大枯れ木の伐採で安心して調査に集中が可能に 25日(火)

生育池は急斜面を背負って周囲が竹に覆われ、鳥類には見つけられにくい姿をしています。この急斜面に生育している巨木が枯れ始めて数年が経過していると思われ、枯れ枝が落下しています。本体の巨木もどんなに影響を受けているのか、崖の上におりますので察知できませんでした。様子を眺めて相当枯れていることは感じられますので、注意を払ってきました。万一、事故が発生すると元も子もなくなりますので、気に留めていました。過日、この池を一緒に案内したところ、気楽に伐採のお手伝いは出来そうですと太田敏之さんのご返事で有難いと思っていました。翌日、明日伐採に行きますのでと金田さんと相談のうえ事務所に予定を伝えていただきました。25日は年末餅つきとしめ縄づくりの予定日で全くお手伝いが出来ませんでした。急斜面で危険な作業を金田さんとの二人作業を行っていただきました。どのようにお礼を言っているのやら感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

●年末餅つきと注連縄づくり 25日(火) ここ数年年末の餅つきを行って多忙な年末に少しの余裕をと楽しいひと時を過ごしました。ことし初めてご参加の石田さんは農園での栽培作業に精を出していただきなが

ら周辺の畔や山裾の雑草を刈り取って、津川さんと並んで農園の環境が生まれ変わるほど美しくしていただいています。今日は家族4人が揃って、しめ縄を編みました。しめ縄は左捻り右捻りと言いつが違って様々なのですが、普段と違ったものが珍重されるので、苦勞をされていました。常連の中西さんや小川さんも回を重ねて、見違えるような製品が出来上がっています。自慢の手作りしめ縄が玄関をしっかりと押さえてくれることでしょう。餅つきでは、お米の準備や洗って水につけておくことや水切りをするなど、事前準備は深田さんが用意していただきました。蒸し器やプロパンガスなど燃料系統一式は大村さんが、餡子や黄粉、大根おろしなど楽しい食べ方については森さんや小川さんが準備を担当していただきました。木の臼でつきました。機械での餅とは柔らかさや、舌ざわりには独特のおいしさがありますので、特に美味しいものです。手作りでつくたてのお餅は柔らかく粘りがあって特別においしいです。皆さんはおぼっておられました。

●里山の会 2018 年 10 大ニュース決まる

選考委員 播川司 深田三郎 大村幸正 森島保 太田敏之 山村武正

- 1 オオムラサキ観察調査会 50 回を達成 12 月 22 日 11 人参加 オオムラサキ幼虫 1 匹 ゴマダラチョウ 41 匹
- 2 県外研修 2 回実施 南紀大災害の現地視察・熊野川（3 月）コウノトリと町おこし・豊岡市（11 月）
- 3 親子で遊ぼう学ぼう魚とり、7 回計画するが、猛暑、渇水 増水で 3 回中止となる
- 4 木津川はどんな川、現地説明展示会 5 市域で連続開催
- 5 念願のトイレ里山農園に実現
- 6 新河川レンジャーに大釜智光氏 山村元秀氏が任命される
- 7 秋の各種展示会 竹蛇籠 3 本組を展示 関心を呼び込む 城陽緑化フェスタ ふれあい土木展
- 8 京の七夕、竹笹提供（各商店街 御園橋 丹波橋 伏見大手筋 木屋町）
- 9 国交省 多自然型川づくり発表交流会 中聖牛について全国大会で発表される
- 10 白土山洞穴コース実現と教育棟の充実

番外追加 マラソンへの協力について第 2 回理事会（8 月 24 日）で契約方式を提案 契約ならず 9 月 26 日 拡大事務局会で最終決定

番外追加 コウノトリ復活への努力に感激 松島氏 コウノトリ会館名誉館長

番外追加 木津川希少種生育調査業務受注 27 か所から 36 か所へ

番外追加 竹蛇籠製作 202 人の協力で 30 本製作する

番外追加 里山農園 ヤマドリ抱卵を発見 浸水で抱卵放棄

番外追加 第 2 回京都子どもの水辺開催 60 人参加

番外追加 カスミサンショウウオ史上最高数を確認 24 匹 絶滅予防対策 予備避難論大きくなる

●年末年始の日程 お手伝いにお越しく下さい

27 日 パソコン教室	28 日 事務所清掃 御用納め	3 日 週刊ニュース新年号発行 755 号
4 日 事務所開き	5 日 事務局会議 七草前日準備	6 日 七草摘みと七草粥 20 日 黒雨味噌づくり

●NKK/Eテレで 29 日（土）の午後 8 時 45 分～1 月 4 日（金）午後 0 時 45 分の 2 回にわたって「さんさん山城」の紹介放送が行われます。「ろうを生きるとして」紹介されます。ご覧になってください。

●新年一番の取組み 1 月 6 日（日）七草摘みと七草粥を楽しむ 10 時里山農園、または普賢寺小学校前に集合 摘み取ったものは家族へのお土産に 大根や蕪なども併せてお土産に準備 参加費 500 円 七草のお話、七草の選び方 七草粥 黒米粥 芋粥など 3 種類作成、歌声、乾杯 囃子歌 古代衣装による草摘み等を計画。